



平成30年10月26日

各 位

会 社 名 東海旅客鉄道株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 金子 慎
(コード番号 9022 東証、名証各第1部)
問 合 せ 先 執行役員広報部長 丹羽 俊介
(TEL. 052 - 564 - 2549)

子会社における業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である日本車輛製造株式会社が、業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正を公表しましたので、別添のとおりお知らせいたします。

なお、これに伴う当社の連結業績への影響は軽微であります。

以 上



平成30年10月26日

各 位

会社名 日本車輛製造株式会社
代表者名 代表取締役社長 五十嵐 一弘
(コード：7102 東証、名証第1部)
問合せ先 執行役員総務部長 深谷 道一
(TEL 052 - 882 - 3316)

平成31年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成30年7月24日に公表しました平成31年3月期第2四半期（累計）および通期の業績予想につきまして、平成31年3月期第2四半期（累計）については本日発表の実績値との間に差異が生じたほか、通期の業績予想については最近の業績の動向等を踏まえ下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想と実績値との差異 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 連結四半期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 36,000	百万円 700	百万円 700	百万円 500	円 銭 34.64
実績値(B)	35,047	3,361	3,876	3,689	255.62
増減額(B-A)	△ 953	2,661	3,176	3,189	—
増減率(%)	△ 2.6	380.1	453.7	637.8	—
(参考) 前期第2四半期連結実績 (平成30年3月期第2四半期)	45,183	5,569	5,664	△ 15,446	△ 1,070.11

2. 差異の理由

売上高は、若干の下期への繰り下がりが発生したものの、概ね前回発表予想のとおりとなりました。利益は、各事業において利益率の向上に努めたことなどから増加いたしました。

3. 平成31年3月期通期の連結業績予想値の修正
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	88,000	2,800	2,700	2,200	152.41
今回修正予想(B)	91,000	4,600	4,700	4,300	297.90
増減額(B-A)	3,000	1,800	2,000	2,100	—
増減率(%)	3.4	64.3	74.1	95.5	—
(参考)前期連結実績 (平成30年3月期)	95,310	7,266	7,315	△ 8,271	△ 573.01

4. 平成31年3月期通期の個別業績予想値の修正
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	87,000	2,700	2,200	152.41
今回修正予想(B)	89,000	4,600	4,300	297.89
増減額(B-A)	2,000	1,900	2,100	—
増減率(%)	2.3	70.4	95.5	—
(参考)前期個別実績 (平成30年3月期)	89,426	6,505	△ 13,812	△ 956.84

5. 修正の理由

売上高は、連結・個別ともに、建設機械事業をはじめとした各事業が堅調に推移していることから、増加する見通しです。

利益は、連結・個別ともに、売上高が増加することや、各事業において利益率が向上していることなどから増加する見通しです。

(注1)平成30年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり利益を算定しております。

(注2)上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて算出しており、実際の決算とは異なる可能性があります。

以上